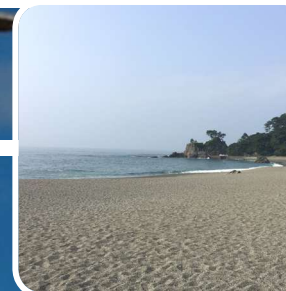
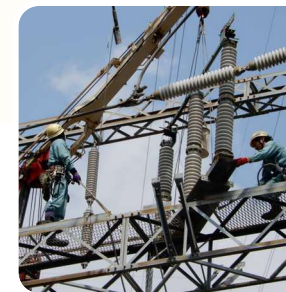
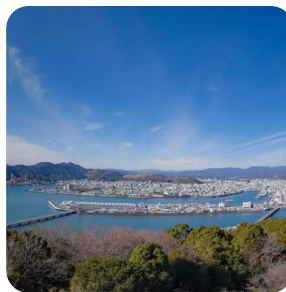


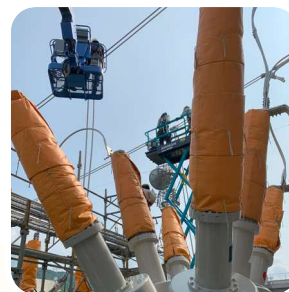


有限会社
藤中電設



環境経営レポート

2023.04.01~2024.03.31



わたしたち藤中電設は、ライフラインを支える事業を通して、社員とその家族の未来とお客様の未来、そして地域の未来を豊かにすると共に、企業として当事者意識と責任を持って環境活動を推進し、今後も持続可能な社会実現に向けて積極的に取り組んでまいります。



誰もが豊かに暮らせる未来へ	2
環境方針	3
沿革	4
環境管理システム	5
対象範囲、レポートの対象期間と発行日	6
主な環境負荷の取組結果と次年度の取組計画	6
 電力使用量の削減と節電	7
    使用燃料の削減	8
  水道使用量の削減	9
  廃棄物排出量の削減	10
  産業廃棄物排出量の削減	11
   緑化活動と社会貢献活動	12
      環境に配慮した工事	13
エネルギー使用量の中長期目標（原単位）	14
その他の取組	14
環境関連法規	15
次年度の環境活動計画	16
全体評価と見直し	17

基本理念

有限会社藤中電設は、地球で活動する企業として、私たちは当事者意識を持ち、持続可能な社会を実現し、美しい地球や故郷の自然環境を次世代に引き継ぐことを使命としています。全社員一丸となって、今後も継続的に環境活動に取り組み、環境保護を通じて持続可能な未来を築くため、常に意識を高く保ち、社会全体に良い影響を与える努力を惜しみません。



基本方針

- ① 環境関連法及び条例等を遵守します。
- ② 建設工事に関わる各段階において、環境負荷の少ない事業活動を行います。
- ③ 社用車両の燃料使用抑制に努め、二酸化炭素排出量を削減していきます。
- ④ 省エネルギー・節電に努め、二酸化炭素排出量を削減していきます。
- ⑤ 建設工事及び事務所における廃棄物排出量の削減及びリサイクルを推進します。
- ⑥ 建設工事及び事務所における節水活動により、水使用量を削減します。
- ⑦ 環境に配慮した物品を調達する「グリーン購入」を推進します。
- ⑧ 環境に配慮した工事を推進します。
- ⑨ 道路清掃及び環境美化活動に積極的に取り組みます。
- ⑩ 環境経営レポートを毎年作成し、外部公表します。
- ⑪ これらの環境方針は社員全員一丸となってに周知徹底し、今後も継続して取り組みます。

制定日 平成29年5月31日
有限会社 藤中電設

代表取締役 藤中 昭宏



組織の概要

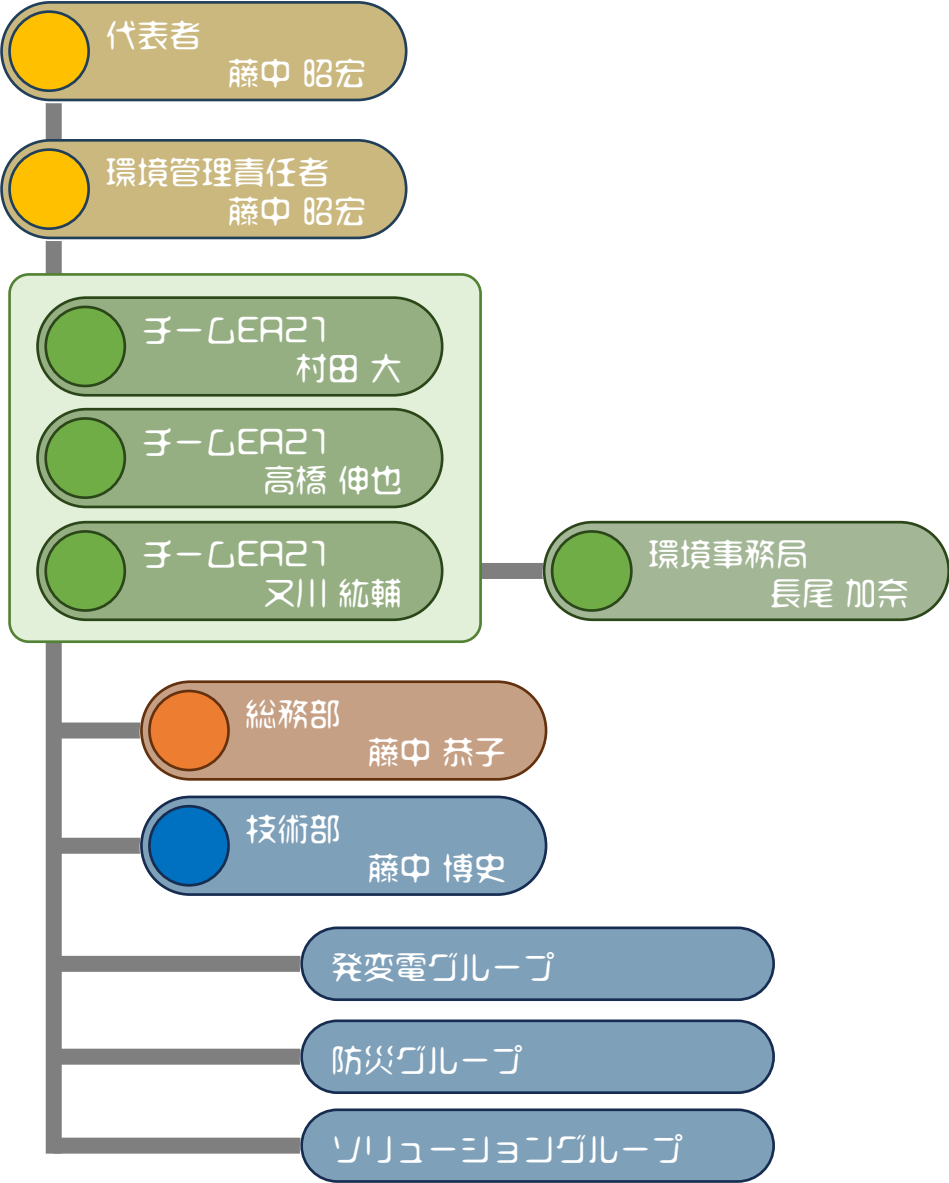
事務所名	有限会社 藤中電設		
代表者	代表取締役 藤中 昭宏		
所在地	高知県高知市長浜1608-3		
事業内容	電気工事業・機械器具設置工事業 高知県知事許可（般-2）第7413号		
事業規模	設立	1995年4月14日	
	資本金	300万円	
	完成工事高	227百万円（2023年4月～2024年3月）	
	従業員数	18名（2024年4月現在）	
	延床面積	69.8㎡	
環境管理責任者	代表取締役	藤中 昭宏	
	環境事務局	技術部 ソリューショングループ 長尾 加奈	
	連絡先	TEL	088-842-1010
		FAX	088-854-3119
		Email	a_fujinaka@f-dn.co.jp
	URL	http://www.f-dn.co.jp	

藤中電設のあゆみ

1995年	4月	有限会社 藤中電設 設立
	6月	電気工事業許可 取得
1996年	8月	機械器具設置工事業許可 取得
2006年	10月	高知市神田八社屋左移転 （神田事務所）
2017年	7月	高知市長浜八新事務所が完成 （長浜事務所）
	9月	藤中昭宏 代表取締役に就任
	10月	エコアクション21認証 取得
2020年	4月	SDGs 取組開始
2021年	10月	こうちSDGs推進企業 登録
	11月	事業継続力強化計画 認定
2023年	5月	神田事務所を長浜事務所へ統合
		現在に至る



環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

代表者	環境経営に関する統括責任 環境経営システム実施に必要な人員、設備、時間、技能、技術者の準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 環境目標、環境活動計画の承認 代表者による全体評価と見直しの実施 環境経営レポートの承認 課題とアクションの明確化
環境管理責任者 (代表者兼任)	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規などの取りまとめ表の承認 環境目標、環境活動計画を承認 環境活動の取組結果を代表者に報告 環境経営レポートの確認
子-LEA21	環境管理責任者の補佐 各工事や業務における環境活動の実施、指導 環境問題に関する勉強会の実施
環境事務局	環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規など取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規など取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーション窓口 環境経営レポートの作成、公開
部門長	自部門における環境方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 自部門に係る環境活動計画の実施、達成状況報告 自部門に係る緊急事態訓練の実施 自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施
従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加

対象範囲

① 対象範囲（認証・登録範囲）

有限会社 藤中電設（全社・全組織・全活動・全従業員）

② 対象事業所

高知県高知市長浜1608-3

③ 事業活動

建設業
（電気工事業、機械器具設置工事業）

④ レポート期間

2023年4月～2024年3月

⑤ レポート作成・発行日

作成日：2024年5月15日
発行日：2024年6月1日

次回発行予定：2025年6月

⑥ レポート作成者

環境事務局 技術部 ソリューショングループ 長尾 加奈



主な環境負荷の実績と目標

項 目			単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素排出量			Kg-CO2	37,400	45,509	44,348
一般廃棄物排出量			Kg	196	340	203
産業廃棄物			Kg	0	0	0
水道水使用量			m	181	180	192

			2022年	2023年		
			基準値	目標	実績	達成状況
燃料使用量	ガソリン	L	5,842	5,725	5,621	○
		基準年比		-2%	102%	
	軽油	L	10,003	9,803	9,647	○
		基準年比		-2%	102%	
電力使用量	kWh		9,441	9,252	14,139	✕
	基準年比			-2%	65%	
CO2排出量	kg-CO2		45,509	44,599	44,348	○
	基準年比			-2%	101%	
用水使用量	m		180	176	192	△
	基準年比			-2%	92%	
一般廃棄物 排出量	kg		340	333	203	○
	基準年比			-2%	164%	
産業廃棄物 排出量	t		6.28	6	0	○
	基準年比			(2022年目標値)	-	
産業廃棄物 再資源化率	%		100	100	100	○
グリーン購入量	%		100	100	100	○
社会貢献活動	回		5	6	6	○
環境負荷の少ない 工事件数	%		100	100	100 (115件中115件)	○

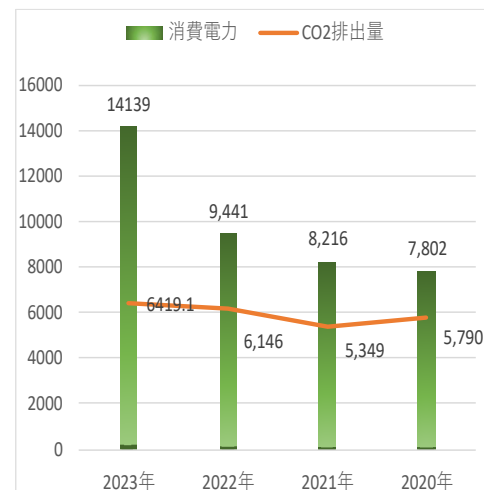
※達成率（%）：目標÷実績×100
評価：○ 達成（100%以上） △ 不十分（99%～90%） ✕ 未達成（90%以下）
※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.454kg-CO2/kWh
※化学物質の削減は使用していないため、設定していません。

電力使用量の削減

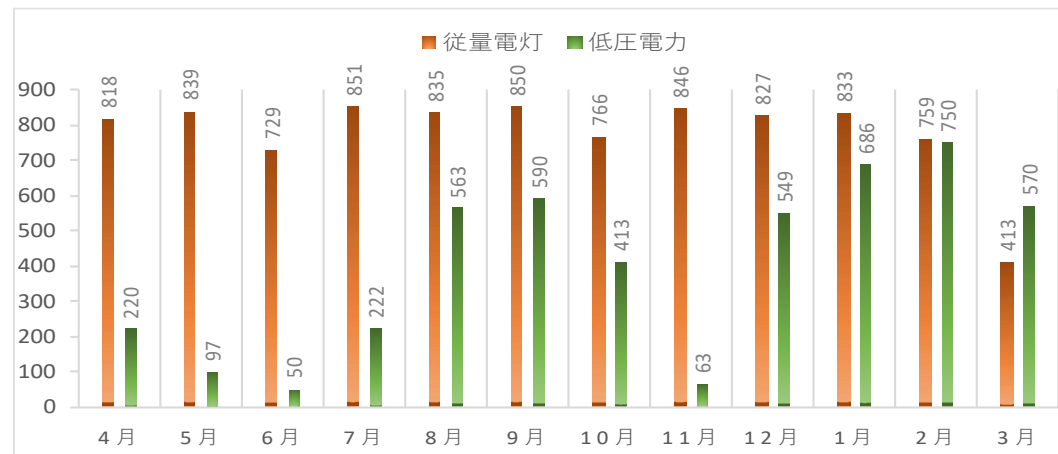
事務所の統合と採用により、事務所での常駐人数が増加、それに積極的伴い電気の使用量も増大しています。そのため、人がいない場所では消灯を徹底し、に電力の使用量を削減する取り組みを行っています。

数値目標と実績	達成状況
目標9,252kWh → 実績14,139kWh 達成率65%	✗
取 組 計 画	達成状況
エアコンの温度設定 (冷房28℃/暖房20℃)	○
事務所外出時及び昼休みの照明オフ	○
未使用時のパソコン電源オフ	○
ウォームビス、クールビスの励行	○
グリーンカーテンの活用	✗

消費電力の推移 (kWh)

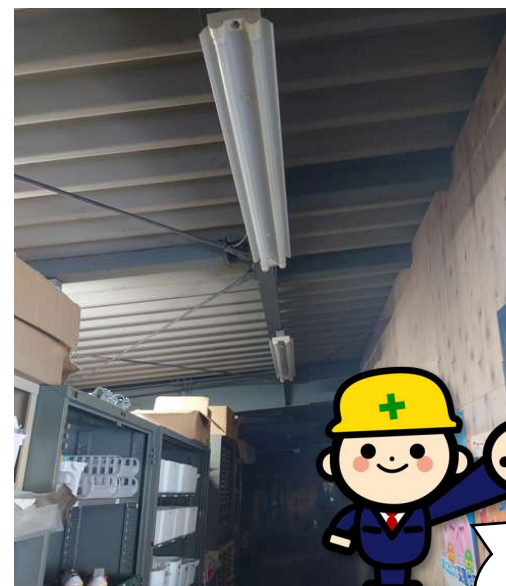


毎月の消費電力 (kWh)



電力使用量削減への具体的な取組

- ・使用していない場所でのこまめな消灯
- ・パソコンの設定を省電力に変更する
- ・空調機器の設定温度の周知と掲示
- ・複合機などはENERGY STAR機器を導入など



昼間は人が少ないことも多く、誰もいない場所の消灯を各自が心がけています。

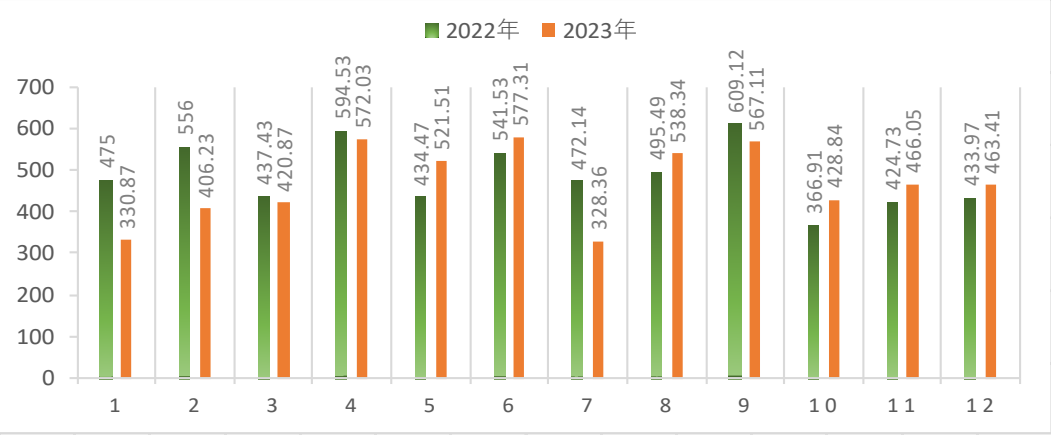
来年度への取組

電気の使用量を減らすため、会社ではさまざまな取り組みを行っていきます。来年度は社員教育を強化し、エアコンの温度設定や清掃、人のいない場所での消灯などの社員間での積極的な節電に向けた活動も重視して進めていきます。

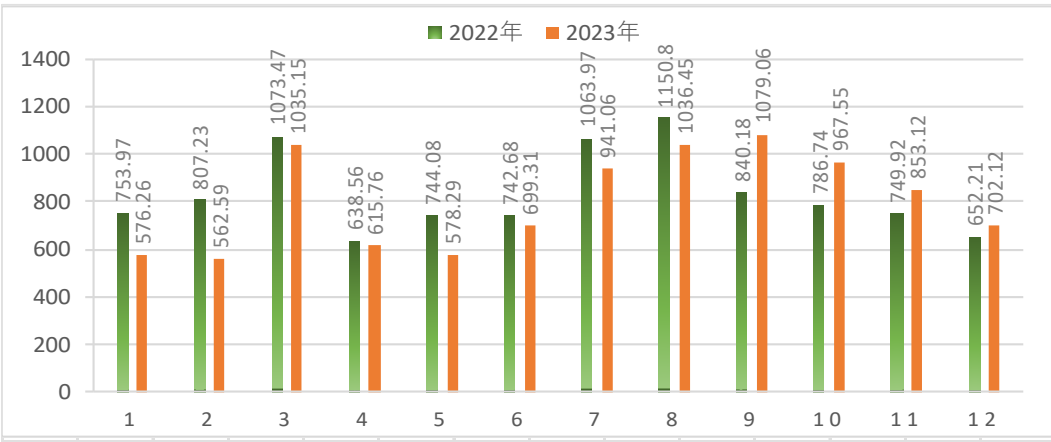
使用燃料の削減

県外や山間部などの遠隔地での工事案件の受注が増えていますが、現場近くでの宿泊をすることにより燃料費が大幅に削減され、社員の負担も軽減されました。さらに、エコドライブの推奨により、燃料費の削減のみならず、環境負荷の低減にも貢献しています。

ガソリン使用量の比較 (L)



軽油使用量の比較 (L)



数値目標と実績	達成状況
ガソリン使用量 目標 5,725L → 実績 5,621L 達成率 102%	○
軽油使用量 目標 9,803L → 実績 9,647L 達成率 102%	○
取組計画	達成状況
急発進、急ブレーキをしない	○
不要な荷物を積まない	○
適切な配車計画の実施	○
タイヤ空気圧の確認	○
適切なメンテナンスの実施	○
ハイブリッドカーの導入	△
エコドライブ100の励行	○



ディーゼルエンジン&DPR-II 「平成28年排出ガス規制」に適合
力強いトルクとクリーン性能を両立。

直列4気筒・ターボインタークーラー 総排気量：4,009L

燃費目標達成率 燃費目標達成率 燃費目標達成率 燃費目標達成率

DPR-II 全車、尿素水を使用せずに排出ガス規制をクリア

尿素フリーにより、メンテナンスの負担を軽減。クリーン、経済性、そして架装・積載性にも貢献。

排出ガスの後処理では、DPR-IITMを搭載し、尿素フリーを実現。マフラー側でも燃料添加を行うシステムによりNOxの浄化性能を向上させ、排出ガス規制をクリアしています。また、尿素水の補充が不要なことで、ランニングコストの抑制に貢献します。



出発前、帰社時の点検もかかさず行っています。

来年度への取組

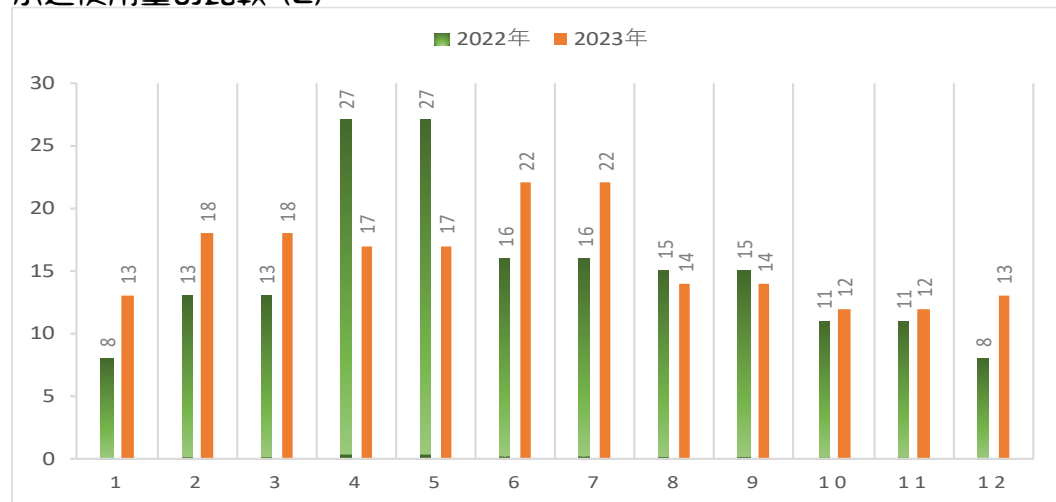
来年度でもエコドライブを推し進め、社内教育の一環として社内でも継続して周知していきます。山間部や長距離での運転が多くなっているため、事故防止の観点からもエコドライブを心がけていきます。また、来年度納車になる工事作業車もハイブリッドカーでの導入になります。

水道使用量の削減

社内環境においてSDGsへの取り組みを具体的に示す一環として、節水標識の掲示を行っています。水の使用箇所には標識を掲示し、さらにトイレの清潔な利用を促すための、意識啓発活動も展開しています。

数値目標と実績		達成状況
用水使用量	目標 180m ³ → 実績 192m ³ 達成率 92%	△
取組計画		達成状況
手洗い時水を出しっぱなしにしない		○
まとめ洗いの工夫をする		△
漏水点検を行う		○
節水リングの導入		△
雨水タンクの導入		△

水道使用量の比較 (L)



作業服の洗濯したりと、水道使用量が多くなりがちです。その分、他での節水もみんなで心がけています。



来年度の取組

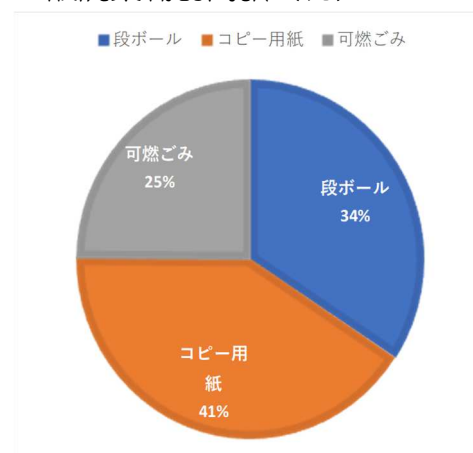
従業員の節水への意識付けは徐々に浸透していますが、我々は来年度もこの取り組みを継続し、さらなる改善を目指していきます。同時に、今年度の実現できなかった雨水タンクや節水リングの導入ですが、再度見積もりを行い、9月には実現できるように代表者が計画を進めていく予定です。

廃棄物排出量の削減

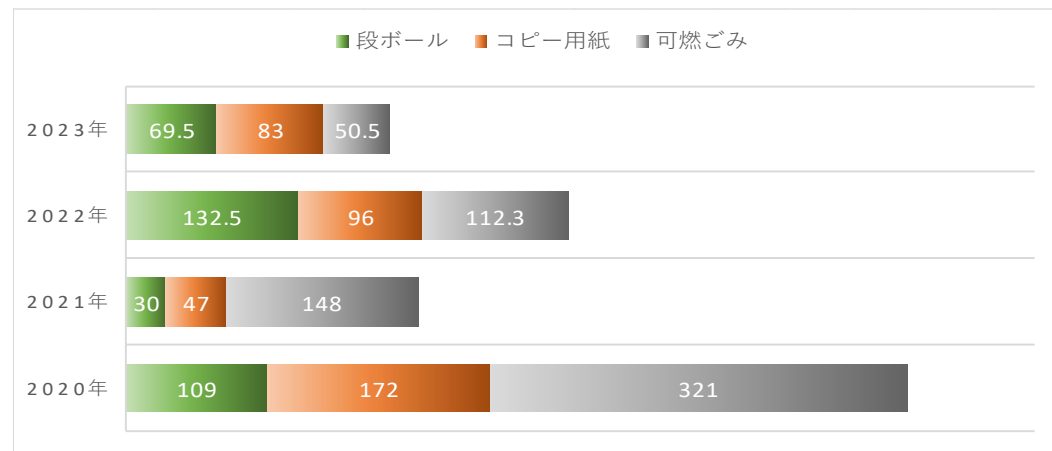
発注のタイミングを見直したり、個人がゴミを持ち帰るなどの習慣が広がり、一般廃棄物の排出量が減っています。特に、段ボールや可燃ごみの削減は目覚ましい成果を上げました。

数値目標と実績	達成状況
一般廃棄物排出量 目標 333kg → 実績 203kg 達成率 164%	○
取組計画	達成状況
コピー用紙の裏側の再利用	○
弁当トレイの各自持ち帰り	○
ゴミ分別の徹底	○

一般廃棄物の内訳 (%)



排出量の推移 (kg)



廃棄物排出量の削減への具体的な取組

- ・コピー用紙の再利用
- ・弁当ゴミなど個人ゴミの持ち帰り
- ・廃材等の再利用と整理
- ・ゴミ分別の徹底
- ・マイバッグ運動への参加 など

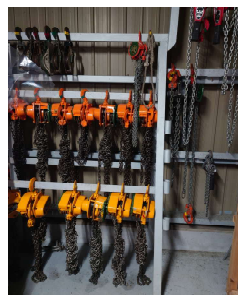


来年度の取組

来年度も、発注時のタイミングを調整したり、個人ゴミの持ち帰りやゴミ分別の徹底など、今年度の取り組みを継続し、さらにマイバッグ運動などへの積極的な参加を推進します。これらの取り組みを通じて、一般廃棄物の排出量を削減するために引き続き努力していきます。

産業廃棄物排出量の削減

定期的な5S活動についての勉強会を行っており、社員への意識づけがされてきたように思います。現場ごとに廃棄物の処理が異なっており、ここ数年は元請での処理ばかりで弊社での処理がない状態となっています。



数値目標と実績

達成状況

産業廃棄物排出量 目標 6.03t → 実績 0
達成率 ---



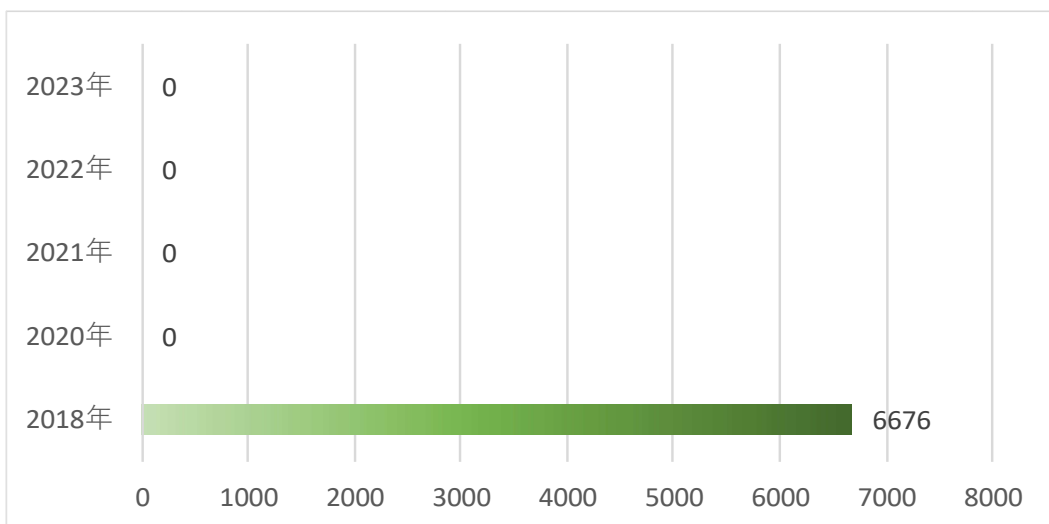
取組計画

達成状況

無駄のない材料取りを心がける

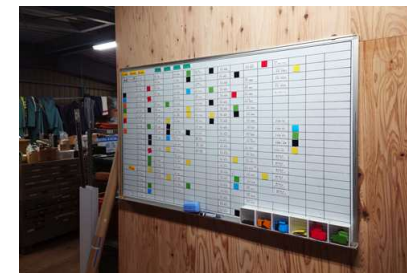


排出量の推移 (kg)



産業廃棄物排出量の削減への具体的な取組

廃材の再利用の道具や設備は、社内外を問わずに活用しています。また、震災時の津波による浸水対策として工具の一部を2階に整理したり、5Sへの意識づけとして、工具の持ち出し先や整備状況の情報共有ができるボードを掲示するなどの取り組みを行っています。



工具はナンバーをつけて管理。
ナンバー毎に設けている棚への収納や
定期的な点検などでも
わかりやすく、活用しています。



来年度の取組

今後も5S活動の社内教育を継続して行います。工具などは定期的な点検やメンテナンスを行っていますが、時折破損により廃棄せざるを得ず、新たな購入が必要となることもあります。このため、継続的な5S活動を通じて、棚の区分や管理が乱雑になる慣れを避けるよう努めます。常に整理整頓を行うことで、職場の効率性と安全性を向上させるための取り組みを続けていく予定です。

緑化活動

会社敷地内への緑化活動展開中！

駐車場の花壇やプランターでの緑化活動は、継続して行っており、季節ごとに色鮮やかな花々が目を楽しませてくれています。

社会貢献活動

地域でのボランティア活動に加えて、私たちは毎月の定例会前に清掃活動を実施しています。この清掃活動では、近隣道路でのゴミ拾いなど、地域の美化や環境保全に貢献する活動を行っています。



数値目標と実績	達成状況
社会貢献活動	○
取組計画	達成状況
各協会ボランティア活動への参加	○
会社敷地内への花いっぱい活動	○
会社周辺道路の清掃	○

来年度の取組

来年度も敷地内の緑化と近隣道路の清掃を続け、地域社会に貢献します。よりよい環境の提供をし、地域社会との良好な関係を築きます。



環境に配慮した工事

環境対策型クレーンの使用

低騒音型車両や排出ガス基準に準拠した車両を使用するとともに、環境に配慮した取り組みを行っています。その一環として、環境に配慮したクレーンの活用も行い、工事が周辺環境へ与える影響を最小限に抑えるよう努めています。

環境に配慮された重機が充実しているレンタル会社と契約をしているのでいつも安心です。



数値目標と実績	達成状況
環境負荷の少ない工事	○
取組計画	達成状況
作業時の騒音及び粉塵対策	○
低騒音、排出ガス対策型重機の使用	○
リサイクル材、県産品、間伐材などの使用	○
工事開始前の環境パトロール及び点検協議	○



来年度の取組

来年度も今年度と同様に、工事現場周辺の環境負荷を最小限にするために、騒音や振動の制御など環境への配慮を重視した取り組みを継続していきます。また、土壌保護にも配慮し、環境への影響を軽減するための措置を実施していきます。

エネルギー使用量の中長期目標（原単位）

			2022年 基準値	2023年			2024年 目標	2025年 目標
燃料使用量	ガソリン	L 基準年比	25.18	24.68 -2%	24.76 100%	△	24.27 -2%	23.77 -4%
		L 基準年比	43.12	42.26 -2%	42.50 99%	△	41.65 -2%	40.80 -4%
電力使用量	kWh		34.71	34.02 -2%	62.29 55%	×	61.04 -2%	59.79 -4%
	kg-CO2		157.98	154.82 -2%	195.37 79%	×	191.46 -2%	187.55 -4%
CO2排出量	m³		0.76	0.74 -2%	0.85 88%	×	0.83 -2%	0.81 -4%
	基準年比							

※原単位：百万円（売上高 227百万円）

達成率（%）：目標÷実績×100

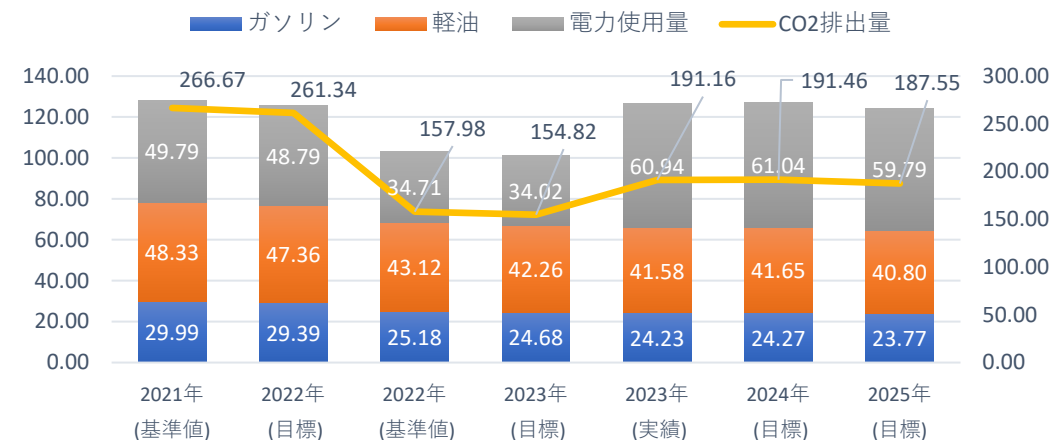
評価：○ 達成(100%以上) △ 不十分(99%~90%) × 未達成(90%以下)

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.454kg-CO2/kWh

※化学物質の削減は使用していないため、設定していません。

全体的な原単位での目標未達成

本年度は事務所の統合や内勤の勤務状況の変化や、前年度に比べての売り上げ減が重なり、目標の達成が芳しくありませんでした。今後も取組を継続し、営業面でモサなる改善に努めてまいります。



その他の取組

BCP(事業継続計画)の作成

弊社の工事現場は、山間部に位置していることが多く、緊急時の安全な避難と復旧時の資材の迅速な運搬が重要な課題になります。この課題に対処するために、各工事現場ごとの避難計画書を作成し、避難場所をQRコードでも掲示しました。災害が発生した際には、迅速にかつ適切な対応ができる体制を整えています。



災害時備蓄品の充実

災害時に必要な備蓄物資を充実させるため、弊社では災害時の拠点として機能することを考慮し、非常用電源として発電機を常備しています。さらに、災害時に必要な救助毛布や25年間の賞味期限を持つサバイバルフードも備蓄しています。

緊急事態対応訓練の実施

避難計画書に基づいて緊急時の手順の確認とQRコードから避難場所マップを呼び出す訓練を、定期的の実施しています。

実際の被災を想定しての緊急時連絡体制の訓練や避難時の時間計測など具体的な手順を繰り返し、被災時に生かせることが今後の課題です。



環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	環境管理責任者 及び 各工事担当者	遵守	2024年3月31日
	第7条の13項	○一般廃棄物収収運搬基準に従った収集運搬表示、書面備付義務	必要時		遵守	2024年3月31日
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	環境事務局	遵守	2024年3月31日
	第12条三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	環境事務局	遵守	2024年3月31日
	第12条三 7項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事(高知県知事)への提出	年1回（毎年6月末）	環境事務局	遵守	2024年3月31日
	規則第7条の三	○保管場所の表示 見やすい箇所に掲示板を設置(縦60cm以上×横60cm以上)	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年3月31日
建設工事に係る資材の三資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	第5条	建設資材廃棄物の発生抑制、分別及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	各工事担当者	遵守	2024年3月31日
資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	各工事担当者	遵守	2024年3月31日
騒音規制法	第14条	特定建設業の実施の届出（建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	各工事担当者	遵守	2024年3月31日
振動規制法	第14条	特定建設業の実施の届出（建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	各工事担当者	遵守	2024年3月31日
水質汚濁防止法	第14条 二の二	事故等により油を含む水が公共用水域に排出又は地下等に浸透した場合の対応 （事故の状況及び講じた措置の概要を県知事に報告）	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年3月31日
浄化槽法	第10条 第11条	○年4回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	年1回	環境管理責任者	遵守	2024年3月31日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年3月31日
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2024年3月31日
電気工事業法	第3条、第19条 ほか	○電気工事の適正な実施	必要時	各工事担当者	遵守	2024年3月31日
建設業法	第3条、第18条 第22条ほか	○建設工事の適正な実施	必要時	各工事担当者	遵守	2024年3月31日
CO ₂ 排出抑制法	第16条、第19条 第43条、第45条	○業務用エアコンの簡易点検、記録（廃棄後3年保存） ○廃棄時の回収依頼書又は委託確認書の交付	簡易点検3か月毎	環境管理責任者	遵守	2024年3月31日

環境関連法規への違反はありません。また関係当局より違反等の指摘や訴訟はありません。

次年度の環境活動計画

計画期間：2024年4月～2025年3月

項	目	活 動 内 容
CO2排出量削減	燃料使用量削減	急発進、急ブレーキをしない
		不要な荷物を積まない
		適切な配車計画の実施
		タイヤの空気圧の確認
		適切なメンテナンスの実施
		運行前点検と車両日報の徹底
		エコドライブ10の励行
	電力使用量削減	エアコンの温度設定（冷房28℃/暖房20℃）
		事務所外出時及び昼休みの照明オフ
		未使用のパソコンの電源オフ
		使用前のファルヨー点検
		サーキュレータ、USBファンの活用
		手洗い及び水使用時に出しっぱなしにしない
		まとめ洗いの工夫をする
用水使用量削減（排水量削減）		漏水点検を行う
		★ 節水リングの導入
		★ 雨水タンクの設置

工程や作業内容の確認し、適切な配車や工具の積載を心がけています。



みんなで節水につとめています。

項	目	活 動 内 容
廃棄物削減	一般廃棄物	コピー用紙の裏側を再使用する
		弁当トレイは各自で持ち帰る
		ゴミ分別の徹底
	産業廃棄物	マニッパグキャンペーンへの参加
グリーン購入		マニフェスト発行による適正処理実施
		グリーン購入法適合商品を優先して購入
		コピー用紙は再生紙を購入する
		事務用品は詰替えてできる商品を購入
環境負荷の少ない工事实績		作業時の騒音及び粉塵対策
		低騒音、排出ガス対策型重機の使用
		リサイクル材、県産品、間伐材などの使用
		工事開始前の環境リポートール及び点検協議
社会貢献活動		各協会ボランティア活動への参加
		会社敷地内への花いっぱい活動
		会社周辺歩道の清掃

今年も高知県主催のマイバッグ運動に参加しました！



四季を通じてキレイに花が咲いています。



※次年度については基本的に本年度の内容を継続して実施
※★印は来年度導入の取組

環境管理責任者の報告及び改善提案

【取組状況の評価結果】

- ① 環境関連法規制などの遵守状況
2024年3月31日に定期評価を実施した結果、遵守されております。
- ② 問題点の是正処置及び予防処置の状況
2023年4月1日～2024年3月31日の間、
是正処置予防処置となるものはありませんでした。
- ③ 前回までの代表者の指示事項への対応
前回のレポート作成時に、代表者の指示により基準年度の見直しを行いました。

＜改善提案＞

特になし



☒ 定期見直し ☐ 臨時見直し
作成者：代表取締役 藤中 昭宏
実施日：2024年4月26日

環境管理責任者の報告及び改善提案

目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)
ガソリン使用量の削減	○	○	適切に達成できた
軽油使用量の削減	○	○	適切に達成できた
灯油使用量の削減	—	—	使用なし
電力使用量の削減	×	○	事務所統合、常駐化による電力使用量の増加 グリーンカーテン導入は設置環境などにより 設置困難とみなし取止める
CO ₂ 排出量の削減	○	○	適切に達成できた
用水使用量の削減	△	△	節水リング、雨水タンク設置の検討
一般産業廃棄物排出量の削減	○	○	適切に達成できた
産業廃棄物排出量の削減	○	○	適切に達成できた
環境負荷の少ない工事の増加	○	○	適切に達成できた
グリーン購入	○	○	適切に達成できた
社会貢献活動への参加	○	○	適切に達成できた

＜改善事項＞

今年度の数値を新たな基準値に定めて、来年度より経過を観察する。

周囲の変化の状況と問題点是正

【取組状況の評価結果】

- ① 外部コミュニケーション記録より
2023年4月1日～2024年3月31日の間、外部からの苦情はありませんでした。
- ② 環境関連法規制等の動向他
改定はありません。

＜改善提案＞

今年度の数値を新たな基準値とする

- ・その他問題点の是正
特になし

【来年度以降の目標値】

			基準値 2004年実績値	2024年 目標	2025年 目標
燃料使用量	ガソリン	L	5,621	5,509	5,396
		基準年比		-2%	-4%
	軽油	L	9,647	9,454	9,261
		基準年比		-2%	-4%
電力使用量	kWh		14,139	13,856	13,573
	基準年比			-2%	-4%
CO2排出量	kg-CO2		44,348	43,461	42,574
	基準年比			-2%	-4%
用水使用量	m		192	188	184
	基準年比			-2%	-4%
一般廃棄物 排出量	kg		203	199	195
	基準年比			-2%	-4%
産業廃棄物 排出量	t		0	0	0
	基準年比			-2%	-4%
産業廃棄物 再資源化率	%		100	100	100
グリーン購入量	%		100	100	100
社会貢献活動	回		6	6	6
環境負荷の少ない 工事件数	%		100	100	100

代表者による見直し

【環境方針】

変更の必要性：なし
環境方針は社員に浸透かつ、日頃の業務活動での意識も見られるので、変更の必要性はない。

【環境目標・環境活動計画】

変更の必要性：あり
環境教育及び環境方針の浸透により、各工事での意識レベルも向上が見られる。
引き続き環境教育を実施し、結果を環境活動計画にフィードバックする。
また、今年度の数値を新たな基準値とする。

【環境経営システム】

変更の必要性：なし
有効に機能しており変更の必要はない。
常にPDCAサイクルを意識して取り組む。

【実施体制】

変更の必要性：なし

総括

事務所の統合や勤務体制の変化に伴い環境が変化したため、2023年度の実績値を基に新たな基準値を設定します。取組に関しては事業の状況に左右される要素が多いものの、社員の環境意識が根付きつつあり、個々で行う消灯やごみの分別などは徹底されています。今後もこれらの取組を継続していきます。



安全で豊かに暮らせる社会のために—



有限会社 藤中電設

発行日：2024年6月1日